

市長所信表明

令和7年6月13日（金）

第2回西海市議会定例会

市制施行から満20年を迎えた本年、市民の皆さまからの負託を受け、これからの4年間、西海市の舵取り役を担わせていただくことになりました。

私はこれまで、農業を基盤に青年団活動を経て、西彼町議会、長崎県議会と、多様な経験を積んでまいりました。これらの知見と経験を活かし、「故郷の声に応える」べく、持続可能で活力ある西海市の実現を目指してまいります。

議員各位並びに市民の皆様には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西海市はかつて炭鉱で栄え、豊かな自然環境のもとで農業、漁業、林業といった一次産業が市民の暮らしを支えてきました。また、造船業、製塩業、火力発電所といった基幹産業が雇用を支えております。このような恵まれた産業構造を有する西海市は、

限りない可能性を持つ自治体であると誇りに思います。

しかしながら、全国的な人口減少の流れは西海市にも影響を及ぼしており、この課題に対し、国や県の支援を最大限活用しながら、以下の施策を推進してまいります。

1. 基幹産業の農業、林業、水産業の振興

地元特産物のブランド化と6次産業化、そして販路拡大を進めることで、西海市の農林水産業のさらなる活性化を図ります。併せて、直売所や加工所等への支援を通じて、地域経済の基盤を強化し、地元生産者の収入向上を目指します。また、農業継承の調査費補助を行い、次世代への農業の継承を支援します。

2. 地場企業の事業展開の後押し

地域資源を活用した新商品開発やマーケティングを推進し、地元産業の競争力を高める取り組みを進めてまいります。また、大学や研究機関との連携を強化し、技術革新を推進することで、新たな産業

の創出や既存産業の高度化を図ります。

特に、環境技術やデジタル技術の分野においては、先進的な取り組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

さらに、地域の魅力を国内外に発信し、観光産業の振興にも力を入れてまいります。西海市の自然豊かな環境や歴史的文化遺産を活かし、多くの人々に西海市を訪れていただけるよう、観光インフラの整備やプロモーション活動を強化いたします。

3. 企業誘致と労働力不足の対策

企業誘致のインセンティブを提供することで、新たな企業の進出を促進し、地域に新たな雇用を生み出すことを目指します。

また、若者の雇用促進に向けて、職業訓練やインターンシップの機会を拡充してまいります。

4. 医療提供体制と高齢者や障がい者福祉の対策

地域の医療を充実させることは、本市の最優先課題の一つです。医療関係者との連携を目的とした（仮称）医療連携会議を創設し、医療関係者との連

携を強化し、無医地区の解消に向けた具体的な施策を進めてまいります。また、高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせる社会を実現するために、福祉事業者との連携を密にし、サービスの向上に努め、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう進めてまいります。

5. 小規模集落や交通弱者対策

小規模集落におけるライドシェア等の新たな交通手段の導入に対する支援など、交通アクセスの改善策の検討に努めます。また、福祉事業者との連携を密にし、高齢者や障がい者向けの移動支援サービスを拡充し、誰もが安心して暮らせる街づくりを推進してまいります。

6. 松島、江島、平島の離島振興

離島独自の資源や有人国境離島振興法を最大限に活用し、観光インフラの整備やプロモーション活動を強化し、新たな地域経済の活性化を図り、地域の雇用を創出し、若者が地元に残り、活躍できる環境を整えてまいります。

7. 結婚、住居、子育ての対策

若者の結婚を促進するため、婚活サポートの充実を図ります。また、空き家のリノベーション支援などを通じて、若者が住みやすい街づくりを進めてまいります。また、子育て支援においては、保育施設の充実を最優先課題とし、保育士の確保と待遇改善に努めてまいります。

8. 教育の充実と振興、学力の向上、魅力ある県立高校

学力向上^{ファイブ}5アッププロジェクトを積極的に推進してまいります。さらに、地域の文化や特性を理解し、それらを学びの中に取り入れることで、子どもたちがふるさとへの誇りを持てるような各校独自の教育を推進し、将来にわたり西海市の発展に寄与する人材育成を目指します。

さらにICTを活用した教育を推進することにより、多様な学びの機会を得られるよう個々の学習ニーズに応じたサポートを提供してまいります。

9. 離島および半島の防災対策

離島や半島における防災計画の見直しを進め、地域の特性に応じた避難経路の整備を行い、迅速かつ安全な避難が可能となるよう努めます。また、避難所の整備も進め、災害時における市民の皆様の安全を確保します。

さらに、地域住民への防災教育を強化し、災害に対する意識を高めてまいります。

防災訓練の実施や防災に関するワークショップを開催し、地域の皆様が自らの安全を守る力を養うことを目指します。加えて、防災インフラの整備を進め、災害に強い地域づくりを目指します。

10. DXやグリーンテクノロジーの対策

デジタルトランスフォーメーションの推進により、市役所業務の効率化と市民サービスの向上を目指します。

行政手続きのオンライン化を進め、市民の皆様がより便利にサービスを利用できる環境を整備してまいります。また、AIやビッグデータを活用し、政策決定の迅速化と精度向上を図り、市民の皆様ニーズに迅速かつ的確に応えるよう推進します。

さらに、教育や福祉の分野でもデジタル技術を活用し、すべての市民が安心して暮らせる社会を構築します。特に、高齢者や障がい者の方々がデジタル技術を活用しやすい環境を整え、誰もが取り残されることのない社会を目指してまいります。

以上を基本方針とし、市政を進めてまいります。市長に就任して約1月が経過し、山積する課題や非常に厳しい財政状況であることを改めて認識いたしました。

しかしながら、これまでの実績と経験を活かし、国や県の支援を最大限に引き出しながら、市民の皆様及び議員の皆様、そして職員と力を一つにして未来を切り拓いてまいる所存です。

就任してまもなく、具体的な取組をお示しできませんが、令和7年度は西海市総合計画及び基本構想の策定に向けた、市の将来像を描く重要な節目の年です。

多くの課題が山積する中、積極的に市民との対話や、関係機関との協議などを通して、提案し、議論

を重ね持続可能な市政運営を目指してまいります。

職員にも部局に関わらず、積極的に政策提案の機会を促していきたいと考えております。

どうか、議員各位におかれましても今後多くのご提案とご教示を賜りますよう、お願い申し上げます。

繰り返しになりますが、西海市を取り巻く情勢は、大変厳しいところがありますが、私の強みである県との協議力、国への交渉力を武器に、議員の皆さまとともに未来ある西海市発展のために、最大限の努力を尽くすことをお誓い申し上げ、私の所信表明といたします。

令和7年6月13日

西海市長 瀬川 光之